

# インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) アトミジョンガクエンダイガク	フリガナ) マネジメントガクブ	フリガナ) ヤマサワゼミ
跡見女子学園大学	マネジメント学部	山澤ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) シーチーム	フリガナ) タカヤナギトモカ	5	無	
C チーム	高柳朋佳			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

調査時に使用したアンケート

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

女性の痴漢被害

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

女性専用車両や、電車内に監視カメラが設置されるなど痴漢対策も行われているが、痴漢被害が未だに多いのも事実である。日本の電車は通勤ラッシュの時間帯など、乗車率 200%といわれる。

私たちは、都心に住み普段から電車を利用する女子大学生であることを活かして、痴漢について考える。

また、2020 年にはオリンピックが開催される。交通の便も満員電車も増えれば、必然と痴漢率も上がってしまうかもしれない。例年に迫ったオリンピックに起こりうるかも知れない被害にどのようにして対策の知識を増やすことができるのか考える。

## 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

盗撮やセクハラなどの女性に対する迷惑行為の中で約 50%の検挙率なのが痴漢である。

痴漢は主に電車で行われるが、満員電車での痴漢が多いのはそうだが、人がいない電車内でも痴漢されているケースもあることから人口密度を緩めることが直接的な痴漢対策になるわけではないと考える。現在、痴漢対策として女性専用車両を設けることや、監視カメラがついていたりする。

### 3. 研究テーマの課題

私たちが行ったアンケートの結果、痴漢の被害にあったことのある女性は約 50%だった。しかし、痴漢に対してどのような対策が取られているか知っているかという質問では、知らないと答えた人が約 7 割に上った。痴漢被害に合う女性がいるなかで、対策法を知らずに困っている女性がいるということである。普段生活する中で、電車を使わずに生きることはまず難しい。毎日とっていいほど、使う電車での被害の対策法を知るすべは何か？

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

「駅内や、駅近くのコンビニエンスストアでの防犯ブザーの販売を義務付ける」など計 5 つの解決策を提案。自ら情報を得るために足を運ぶのではなく、情報が自然と入る環境や場所を作る。そして、行動に移したいときに移す準備ができるようにすることで、解決策が自然と記憶に残るような方法である。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

Google の質問機能を利用して、メンバーそれぞれがインスタグラブで「女性」に限りアンケートを取った。痴漢をテーマに「痴漢を受けたことがあるか」「痴漢に対してどのような対策があるか知っているか」「どのような対策が有効的か」の 3 つのアンケートを取り、100 名の回答をグラフにして表した。

### 6. 結果や今後の取り組み

今後の取り組みとしては、痴漢を他人事だと思わずに個人個人が周りを意識し、自分をより大切に考えることが必要である。被害に遭っても届け出るのを躊躇してしまう女性も多いのではないだろうか。そんな人を少しでも減らすべく、自分も周りも少しでも気にかける人が増えれば何か変わるのではないだろうか。

### 7. 参考文献

[https://www.excite.co.jp/news/article/Sirabee\\_131683/?p=2](https://www.excite.co.jp/news/article/Sirabee_131683/?p=2)

<https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kurashi/higai/koramu2/koramu8.html>

<https://forms.gle/nrsTF7d78hr6DBBs9>

(閲覧：2019. 9. 20)

[https://www.fnn.jp/posts/00047928HDK/201908281230\\_FNNjpeditorsroom\\_HDK](https://www.fnn.jp/posts/00047928HDK/201908281230_FNNjpeditorsroom_HDK)

(閲覧：2019. 9. 19)

<https://youpouch.com>

<https://www.sbbit.jp/article/cont1/36720>

(閲覧：2019. 9.23)

#### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

**↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください**